

《演奏会等報告》

(平成 27 年度)

演奏会報告

■ 大岡 訓子

2016年1月6日(水) 18:00 開演 しらかわホール

「めいおん新春コンサート 室内楽・アンサンブルの夕べ XVI」

ピアノデュオ

ワルツ集 Op.39 より J.ブラームス

1865年に完成されたワルツ集 op.39 は、ブラームスとウィーンの結び付きの強い作品となっている。もとは連弾のための16曲のワルツを、作曲者自身により、ピアノ独奏、2台のピアノのための作品に編曲された。

ピアノデュオのための作品は、原曲の16曲のうち、第1、2、11、14、15番の5曲が現存し、演奏した。14、15番は、連弾版よりも独奏用と同様に、半音低い調性になっている。

研究内容報告

第20回浜松国際ピアノアカデミーの聴講。

2016年3月11日(金) アクトシティ浜松・中ホールで開催されたオープニングコンサート、ヤン・イラーチェック・フォン・アルニン ピアノリサイタルを聴いた。

プログラム; F.ブゾーニ シャコンヌ ニ短調

F.シューベルト さすらい人幻想曲 ハ長調 作品 15 D.760

F.ショパン 舟歌 嬰へ長調 作品 60

F.リスト イゾルデの愛の死

(ワーグナー:トリスタンとイゾルデより)

F.リスト バラード 第2番 ロ短調

イラーチェックは、ウィーン国立音楽大学教授であるが、ハンス・ライグラフに師事し、その演奏から、アルフレッド・ブレンデル、ブルーノ・レオナルド・ゲルバーなどの演奏家からの影響も聴こえてきた。ブゾーニ国際ピアノコンクール1位入賞という演奏技術面

を超える、繊細な内面の独自の音楽性を持ち、美しい多彩な音色で語っていた。ウィーン国際ベートーヴェンピアノコンクールの芸術監督も務め、ベートーヴェンのピアノソナタにおける教育内容も定評があり、今後も音楽的な生き方、演奏が注目されるピアニストである。

繊細な内面と人間的な純朴さ、音楽に対する真摯な姿勢、演奏表現の無限さを感じさせる演奏であった。

演奏会報告

■ 佐藤 恵子

2015年3月19日(木) 電気文化会館 ザ・コンサートホール

名古屋管楽五重奏団演奏会 第45回

ブラームス ピアノ四重奏第1番 ト短調 op.25

2015年5月22日(金) 電気文化会館 ザ・コンサートホール

愛知ロシア音楽研究会 第6回演奏会「・・・そしてラフマニノフ」

スクリャービンピアノソナタ第3番 嬰へ短調 op.23 より第1・3楽章

2015年10月30日(金) めいおんホール

教員コンサート (ピアノコース)

ラフマニノフ「組曲第2番」より 3.ロマンス 4.タランテラ (pf 武本京子)

ヨハン・シュトラウス 美しく青きドナウ

(pf 金山正一 大岡訓子 清水皇樹 中川朋子)

2015年12月8日(火) 電気文化会館 ザ・コンサートホール

愛知ロシア音楽研究会「ロシア万華鏡」

ブラームス 「ロシアの思い出」より

ロシア国家 N.1 夜明けに彼女を起こさないで (pf 山下勝)

チャイコフスキー ともしび

フォーミン 悲しき天使 (mez 笥聡子)

「リムスキー・コルサコフ編100のロシア民謡」より

N.13 N.14(歌) (sop 笥真美子 川畑久子)

「チャイコフスキー民謡集」より

ワーニャの夢 (pf 山下勝)

N.37 N.39(歌) (sop 川畑久子 mez 笥聡子)

N/45(歌) (mez 笥聡子)

ラフマニノフ「6つの小品」より スラヴァ (pf 山下勝)

2016年1月28日(木) 電気文化会館 ザ・コンサートホール

ポリオ撲滅チャリティーコンサート学友による2016年

「新春コンサート」

滝廉太郎 荒城の月

プッチーニ 【蝶々夫人】より ある晴れた日に (sop 小林史子)

サン・サーンス 動物の謝肉祭 (pf 織田寛子)

愛知ロシア音楽研究会結成7年目を迎えテーマを決めての6回の演奏会とロシア民謡を中心とした3回の演奏会を通し、ロシア音楽への理解が深まり、ロシア語のイントネーションの大切さを実感しています。また二台ピアノ、連弾を通し、一緒に演奏する楽しさと共に音楽を媒体としてのコミュニケーションの充実を実感できた年となりました。

竹内 梓 研究紀要演奏会報告書（第35回）

■ 竹内 梓

2015年3月19日（木）

- 演奏者氏名 竹内 梓
- 演奏研究テーマ 第45回 名古屋管楽五重奏団演奏会
- 主 催 名古屋管楽五重奏団
- 場 所 電気文化会館 ザコンサートホール
- 目的及び内容

目 的 定期演奏会

内 容 フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴット、ピアノによる演奏

出演者	フルート	竹内 梓
	オーボエ	加藤英子
	クラリネット	山川真喜子
	ファゴット	中山優希
	ホルン	吉田 章
	ピアノ	佐藤恵子

- ・木管五重奏曲 作品2 M.アーノルド
- ・プルチネルラ I.ストラヴィンスキー
- ・ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 作品25 (ピアノと木管五重奏 編) J.ブラームス

◎研究に関する自己評価及び今後の展望

毎年恒例の木管五重奏とピアノを加えたアンサンブルの演奏会である。今回で、第45回目の開催となる。アーノルド作曲「木管五重奏曲」は、彼の代表作品ではないが、ロンドンフィルの首席トランペット奏者らしい、管楽器の持ち味を十分生かした楽しめる作品であった。ストラヴィンスキーの「プルチネルラ」は、原曲のバレエ音楽を木管五重奏版に編曲したもので、バロック時代の楽曲を素材とし、リズムと和声を近代的にアレンジした、まさに新古典主義と呼ばれる彼らしい作品で、とても聞き易かった。ピアノの加わった、ブラームスの六重奏曲は、オリジナルはピアノ四重奏曲であるが、木管五重奏との編

曲で、各管楽器の音色の色彩感が、より演奏効果を増したようであった。



2015年7月12日(日)

- 演奏者氏名 竹内 梓
- 主 催 日本室内楽アカデミー設立30周年記念コンサート実行委員会
- 演奏研究テーマ 名曲ベスト・20選 リクエストコンサート
- 場 所 しらかわホール
- 目的及び内容

目 的	リクエストコンサート
内 容	日本室内楽アカデミーメンバーによるアンサンブルの演奏
出演者	フルート 竹内 梓
	ヴァイオリン 木全利行、中川さと子、中村ゆかり
	ヴィオラ 飛澤浩人
	チェロ 小川剛一郎
	ギター 酒井康雄
	ピアノ 佐々木仔利子、海老原優里

- ・交響曲 第5番ハ短調作品67「運命」より第4楽章
L.V. ベートーヴェン
- ・美しく青きドナウ
J. シュトラウスⅡ世
- ・他

◎研究に関する自己評価及び今後の展望

私の所属する日本室内楽アカデミー主催の、今回で5回目となるコンサートである。周知の名曲20曲の冒頭部分を演奏し、その後、聴衆の投票によるリクエストにより選曲された曲を、今度はノーカットで演奏するというコンサートである。出演を待機するプレーヤー側にとっても、リクエスト曲が選出されるまでの期待とスリルがあり、聴衆と共に楽しむことのできるユニークな企画の演奏会であった。

2015年10月30日（金）

- 演奏者氏名 竹内 梓
- 主 催 名古屋音楽大学演奏部
- 演奏研究テーマ 名古屋音楽大学 第3回めいおん音楽祭 ランチタイムコンサート
- 場 所 D○プラザ関蔵 ホールD○
- 目的及び内容

目 的 ランチタイムコンサート

内 容 フルート、ファゴット、チェンバロによる演奏

出演者 フルート 竹内 梓、安藤沙恵、森本 碧、澤田奈央

ファゴット 天野温香

チェンバロ 鈴木美香

- ・トリオソナタ ハ長調 J. J. クヴァンツ
- ・カルテット ニ短調（食卓の音楽より） G. ph. テレマン

◎研究に関する自己評価及び今後の展望

名古屋音楽大学演奏部主催の第3回めいおん音楽祭参加の、学生と教員による昼休み時間に開催されるランチタイムコンサートである。今回は、ファゴットの加わった通奏低音のチェンバロと、フルート2本と3本とによるバロック時代の作曲家の作品を演奏した。学生にとって演奏機会の少ないチェンバロを使つての演奏の体験と、さらに替え指（通常の運指の代わりにそれぞれのメリットを選択して使用する指使い）を正規の運指と同等に多用できるか、可能性を試した。終演後、学生からは、バロック音楽が好きになったとの感想をもらったり、替え指の多用も目立った違和感は無いとのこと、試みは成功したようである。



2015年11月20日（金）

- 演奏者氏名 竹内 梓
- 主 催 名古屋音楽大学フルートオーケストラ
- 演奏研究テーマ 名古屋音楽大学フルートオーケストラ 第5回 定期演奏会
- 場 所 めいおんホール
- 目的及び内容
 - 目 的 定期演奏会
 - 内 容 フルートオーケストラによる演奏
 - 出演者 フルード 名古屋音楽大学フルート専攻生
 - 指揮 竹内 梓

- ・ 喜歌劇「軽騎兵」序曲 F. スッペ
- ・ ブルートレイン 廣瀬量平
- ・ バレエ組曲より D. ショスタコーヴィチ
- ・ 組曲「仮面舞踏会」よりワルツ A. ハチャトウリアン
- ・ スラブ舞曲 作品72-2 A. ドヴォルザーク(鈴木菜奈美 編)
- ・ 連作交響詩「わが祖国」よりヴェルタヴァ B. スメタナ
- ・ 他

◎研究に関する自己評価及び今後の展望

名古屋音楽大学管楽コースフルート専攻生によるフルートオーケストラ第5回定期演奏会である。今回のプログラムは、小編成のアンサンブルは無く、すべてフルートオーケストラで構成されたので、私も指揮者としてフル出演であった。オリジナル曲や、編曲作品を演奏したが、ドヴォルザークの「スラブ舞曲」は、学生の編曲であったせい、メン

バー皆とても盛り上がった。スメタナの「ヴルタヴァ」では、オリジナルの弦楽器パートも遜色のない演奏で、皆素晴らしい出来栄であった。今後も、フルート専攻生と共にメンバー丸となって目標を共有できるようなフルートオーケストラを目指していきたいと思っている。



2015年12月13日（日）

- 演奏者氏名 竹内 梓
- 主 催 日本室内楽アカデミー設立30周年記念コンサート実行委員会
- 演奏研究テーマ 30th ベストセレクションコンサート
- 場 所 しらかわホール
- 目的及び内容
 - 目 的 記念コンサート
 - 内 容 日本室内楽アカデミーメンバーによるアンサンブルの演奏
 - 出演者

フルート	竹内 梓
ヴァイオリン	木全利行、松実健太
ヴィオラ	飛澤浩人
チェロ	小川剛一郎

ドラムス 長谷川裕祐
ピアノ 佐々木仔利子、田中孔波

- ・フルートとジャズピアノトリオのための組曲より
アイランデイズ、ジャパネイズ C. ボリング
- ・ボレロ M. ラヴェル

◎研究に関する自己評価及び今後の展望

日本室内楽アカデミー設立30周年記念の、未来へのK I S E K(軌跡が奇跡)につながるようにと、サブタイトルの付いたコンサートであった。プログラムは、エポック的な意味のある名曲を選曲し、アカデミーメンバーによるアンサンブルで演奏をした。私の演奏したボリングの曲については、今回ドラムスを加えての演奏であったが、打楽器が入ることによって、テンポが安定してとても演奏し易かった。ただ、各パートの音量バランスを聞きながら演奏するまでの余裕が、もう少しあればさらに良かった。



演奏活動・研究活動の報告

■ 中川 朋子

2015年3月27日（金） 18:30 開演 場所：アーク栄サロンホール
 <弦楽器とピアノで綴る隠れた名曲—初演作品を交えて>

フンメル ピアノトリオ作品 93 変ホ長調
 ルクー ヴァイオリンソナタ ト短調より 2 楽章
 中村節 2つの情景描写的小品 浮島/椋鳥群
 池脇博士 Fantastical

大作曲家フンメル、ルクーの作品と名古屋音楽大学の作曲コース出身のフレッシュな作品とのユニークなプログラムは、とても興味深く、楽しく演奏をさせて頂く事が出来た。一般に現代曲は、中々、理解されにくく、演奏会も敬遠されがちであるが、今回、お客様に好評で、若い作曲家のこれからの作品が期待される。

2015年4月12日（日） 場所：電気文化会館 ザ・コンサートホール
 2015年カワイこどもコンクール（ピアノ部門中部大会）連弾の部の審査員を務めた。

出場者が多数で、コンクールへの関心度の高さを実感した。
 短時間に、出場者に役立つ講評を書き記す事は、大変集中力を要するが、的確なアドバイスができるように、今後とも努めたい。

2015年7月26日（日） 場所：高島町文化ホール
 第16回山形県ジュニアピアノコンクール（置賜地区予選）の審査員を務めた。

毎年度、この審査員を務めているが、年を経るごとに、参加者の演奏意欲が高まっているように感じられる。

2015年10月3日（土） 場所：ハートピア春江（大ホール）
 第2回さかい九頭竜音楽コンクールの審査員を務めた。

このコンクールは、福井県坂井市の音楽芸術の発展と普及に貢献のため、若い音楽家の育成と演奏の機会を設けると言う趣旨で、開催される事になった。

今回が、第2回の開催であるが、今後、このコンクールが地域に根付いて、益々音楽への関心が深まる事と、審査員を務めた者としても、大変楽しみにしている。